



地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所（環農水研）
水産研究部水産支援グループ 担当：辻村・木村
TEL：072-495-5252 FAX：072-495-5600

プレスリリース

令和3年5月27日 14:00

府政記者会 関西空港記者会 会員各位

栽培漁業センターで育ったヒラメの稚魚10万尾を大阪湾に放流
年内に大阪湾内で漁獲サイズ（約400グラム）に育ちます！

大阪府では「はまが潤い豊かな恵みをまちに届ける海づくり」を目標に水産関連事業を実施しています。その取組みの一つとして、大阪湾の魚介類資源を増やすために様々な稚魚を育成し、自然の海に順応できる大きさまで成長させて放流する「栽培漁業」を推進しています。

このたび、ヒラメの稚魚が放流に適した大きさ（サイズ：全長80ミリメートル）に成長しましたので、以下のとおり放流します。

なお、この事業は府が「公益財団法人大阪府漁業振興基金」に業務委託し実施しているものです。

- 1 放流尾数計10万尾
- 2 放流日時及び放流場所

令和3年6月1日（火曜日）	10時00分から泉佐野市地先
	11時00分から泉南市岡田地先
	13時30分から阪南市西鳥取地先
	14時30分から阪南市箱作地先
令和3年6月2日（水曜日）	10時00分から岬町淡輪地先
	11時00分から田尻町地先
	13時30分から阪南市尾崎町地先
	14時30分から泉南市樽井地先
令和3年6月3日（木曜日）	10時00分から岬町深日地先
	11時00分から岬町谷川地先
	14時00分から岬町小島地先

※放流尾数は、各箇所につき約9,100尾です。

3 放流後の稚魚の成長予測

今回放流する稚魚は、今年の年末頃には、全長約35センチメートル（約400グラム）に成長し、漁獲対象のサイズとなる見込みです。

4 その他

中間育成については、地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センターが技術指導しています。



放流するヒラメ稚魚



ヒラメの放流風景

※取材上の注意

事前に公益財団法人大阪府漁業振興基金栽培事業場（電話番号 072-495-0516）までご連絡ください。放流場所等の詳細について説明させていただきます。